

ずっと一緒にいたいと思った。
初めて恋を知った。



A Swedish Love Story

Directed by
Roy Andersson

スウェーディッシュ・ラブ・ストーリー

監督・脚本・編集：ロイ・アンダーソン 撮影：ヨルガン・ベルソン 音楽：ピヨルン・イスフェルト
出演：アン・ソフィ・シリーン、ロルフ・ソールマン、アニタ・リンドブロム、バーティル・ノルストロム
1969年 / 35mm / スウェーデン / 114分 / ヨーロッパヴィスタ / ドルビーデジタル / カラー
配給：スタイルジャム、ピタース・エンド

ロイ・アンダーソン監督最新作
『愛おしき隣人』公開特別企画

まだ口づけも知らない14歳のアニカと、15歳のペール。
幼いふたりの青春と美しい恋のめざめを瑞々しく描いた、幻の長編デビュー作が甦る！

2007年カンヌ国際映画祭 ある視点部門正式出品



今日もついてないことばかり、
でも明日はきっとしあわせ。

北欧のとある街のちょっとおかしな住人たち。
隣のリビングを覗いてみれば、
愛おしい人生たちがあふれだす

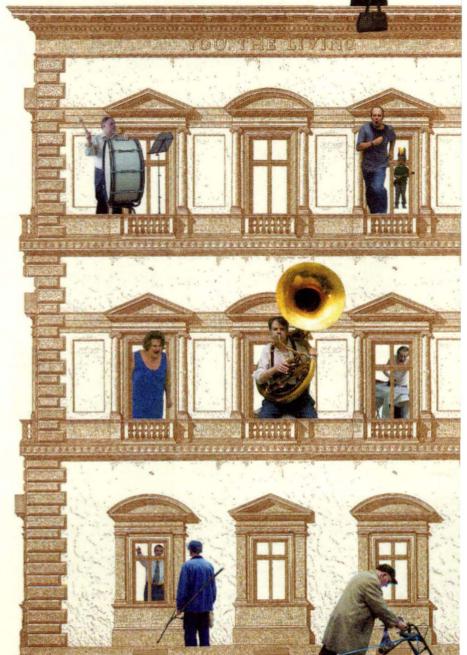


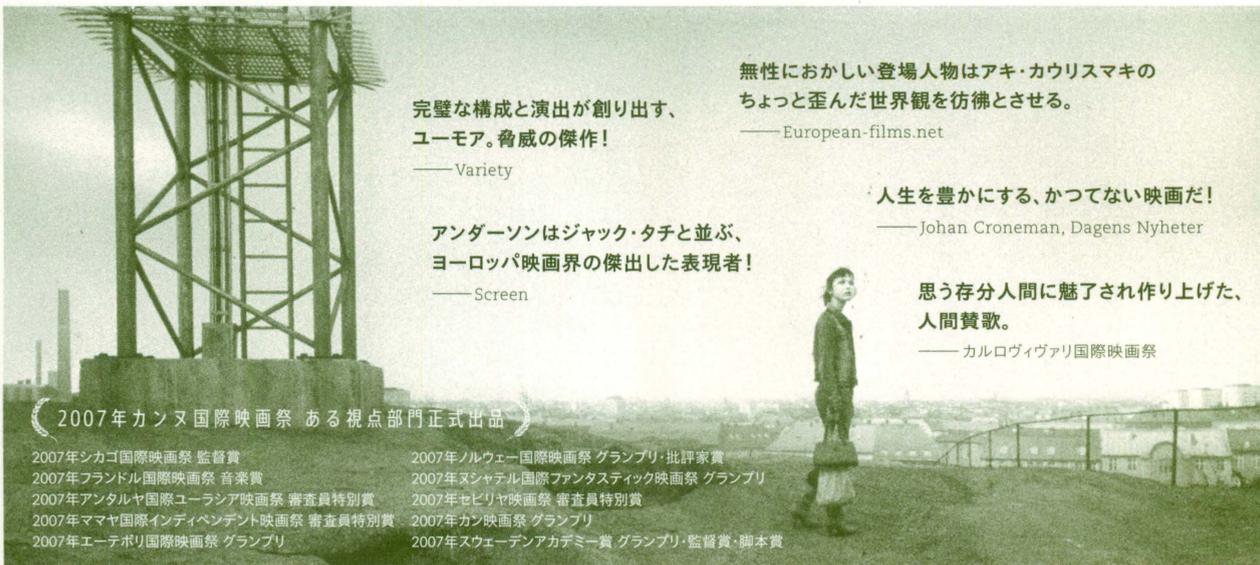
愛おしき隣人

監督・脚本：ロイ・アンダーソン『散歩する惑星』 出演：ジェシカ・ランバーク、エリック・ベックマン、エリザベト・ヘランダー、ピヨルン・イングランド
製作：ロイ・アンダーソン・フィルム・プロダクション、スタイルジャム
2007年 / 35mm / スウェーデン＝フランス＝デンマーク＝ドイツ＝ノルウェー＝日本 / 94分 / ヨーロッパヴィスタ / ドルビーSR / カラー 映倫
原題：YOU, THE LIVING 日本語字幕：松浦美奈 後援：スウェーデン大使館、スウェーデン政府観光局 SIDA 配給：スタイルジャム、ピタース・エンド
Jessika Lundberg Elisabet Helander Björn Englund Leif Larsson Ollie Olsson Kemal Sener Håkan Anger Birgitta Persson Gunnar Ivarsson Director & Scriptwriter ROY ANDERSSON
Producer FERNILLA SANDSTRÖM Director of Photography GUSTAV DANIELSSON Production Manager & Assistant director JOHAN CARLSSON Sound Mixer OWE SVENSSON Music
Recording ROBERT HEFTER Sound JAN ALVERMARK ROBERT SÖRLING Editing & Props ANNA MÅRTA WÄRN Scenic Carpenter & Special Construction JACOB BJÖRKANDER Economy &
Administration JOHANNA WENNERBERG Back-drop design/ Painting MAGNUS RENFORS. ELIN SEGERSTEDT Casting & Key Costume SOPHIA FRYKSTAM Assistant
Cameraman FREDRIK BORG Assistant Editor ALEXANDRA STRAUSS Produced by ROY ANDERSSON FILMPRODUKTION in co-production with PARISIENNE DE
PRODUCTION/ PHILIPPE BOBER THERMIDOR FILMPRODUCTION/ SUSANNE MARIAN POSTHUS TEATRET/ CARSTEN BRANDT 4 1/2 / HÅKON ØVERÅS SVERIGES
TELEVISION, ARTE FRANCE CINEMA, WDR/ARTE, STYLE JAM with support from SVENSKA FILMINSTITUTET, EURIMAGES COUNCIL OF EUROPE, NORDISK FILM- &
TYFOND, FILMSTIFTUNG NORDRHEIN-WESTFALEN, DANSKE FILMINSTITUT, NORSKE FILMFOND with CASMIL • © MMVII ROY ANDERSSON FILMPRODUKTION AB,
THERMIDOR FILMPRODUCTION, PARISIENNE DE PRODUCTION, POSTHUS TEATRET, 4 1/2, STYLE JAM, SVT, ARTE FRANCE CINEMA, WDR.



www.kittoshiawase.jp





完璧な構成と演出が創り出す、ユーモア。脅威の傑作!

—Variety

アンダーソンはジャック・タチと並ぶ、ヨーロッパ映画界の傑出した表現者!

—Screen

無性におかしい登場人物はアキ・カウリスマキのちょっと歪んだ世界観を彷彿とさせる。

—European-films.net

人生を豊かにする、かつてない映画だ!

—Johan Croneman, Dagens Nyheter

思う存分人間に魅了され作り上げた、人間賛歌。

—カルロヴィヴァリ国際映画祭

2007年カンヌ国際映画祭 ある視点部門正式出品

- 2007年シカゴ国際映画祭 監督賞
- 2007年フランドル国際映画祭 音楽賞
- 2007年アンタルヤ国際ユーラシア映画祭 審査員特別賞
- 2007年ママ国際インディペンデント映画祭 審査員特別賞
- 2007年エーテボリ国際映画祭 グランプリ

- 2007年ノルウェー国際映画祭 グランプリ・批評家賞
- 2007年ヌシャテル国際ファンタスティック映画祭 グランプリ
- 2007年セビリヤ映画祭 審査員特別賞
- 2007年カン映画祭 グランプリ
- 2007年スウェーデンアカデミー賞 グランプリ・監督賞・脚本賞

今日もついてないことばかり、でも明日はきっとしあわせ。

北欧のとある街の住人たち。ロックスターとの結婚を夢見る少女、世界で一番ついてない夫婦、誰からも愛された事のない男、「誰も私を理解してくれない!」と泣き叫び、歌い出す女、困窮した家計を静かに嘆く精神科医…。一生懸命に生きているけど、今日もやっぱりついてない。そんな住人たちが集うとあるバー。1日の終りに、バーテンダーは言う。「ラストオーダー、また明日があるよ!」。ユーモラスな音楽に乗せて、とぼけた笑いと、圧倒的オリジナリティで普遍的な人間愛を描く。



ロイ・アンダーソン監督の「愛おしき隣人」住人観察記録

🎞 撮影フィルム	62,342m
👤 スタッフ稼働	103,680時間
🍷 ペンキ	3,948リットル
📖 木版	38,815m
🔩 ねじ	26,200個



カンヌをはじめとする映画祭で受賞し、絶賛された前作『散歩する惑星』から7年。夢か現実か、観る者を陶酔させる最新作『愛おしき隣人』は、莫大な時間と労力を費やし、CG全盛期のこの時代にローテクで創り上げられた。カンヌ国際広告祭で8度のグランプリに輝くCF界の巨匠でもある監督の、その恐ろしいまでの完璧な映像は、『エターナル・サンシャイン』のミシェル・ゴンドリーをも凌ぐ、独自の世界観を創り上げている。

人間はちっぽけで情けなくて、でもこんなにも愛おしい。

私たちは人を笑いたくると同時に、その人のために泣きたくなる。人は誰かにとって希望であると同時に、悩みの種でもある。それでもやっぱり、人と繋がってほしいという、普遍的な感情を、独特の大きささと、くすくす笑えるユーモア、微かな苦味を交えて描いている。それぞれの住人たちのユニークなエピソードは夢と現実の狭間の様な浮遊感があり、自由奔放で豊かな想像力を掻き立ててくれる。際立ったキャラクターの住人たちには、ほとんどプロの俳優はキャストせず、路上や、町などで監督、プロデューサー自らがスカウトした。ちっぽけで情けない人間を温かいまなざしで描き、住人たちを愛おしい存在として浮かび上がらせた。そのユーモアセンスは、コーエン兄弟やウェス・アンダーソン監督と並び、世界の映画ファンたちから熱い注目を集めている。本作は、2007年カンヌ映画祭「ある視点」部門に出品されるなど、国内外で高い評価を受けている。

愛おしき隣人

www.kittoshiawase.jp

監督・脚本:ロイ・アンダーソン 出演:ジェシカ・ランバーク、エリク・ベックマン、エリザベート・ヘラング、ビヨルン・イングランド 製作:ロイ・アンダーソン、フィルム・プロダクション、スタイルジャム 2007年/35mm/スウェーデン/フランス/デンマーク/ドイツ/ノルウェー/日本/94分/ヨーロッパ/ビスタ/ドルビー-SR/カラー 原題:YOU, THE LIVING 日本語字幕:松浦美奈 後援:スウェーデン大使館、スウェーデン政府観光局 配給:スタイルジャム、ピタース・エンド



スウェーデンの巨匠ロイ・アンダーソン

1943年、スウェーデン、エーテボリ生まれ。長編デビュー作となる『スウェーディッシュ・ラブ・ストーリー』は1970年ベルリン国際映画祭で主要な4タイトルを受賞し、世界的な成功をおさめ、1976年のカンヌ国際映画祭監督週間に「Giliap」を出品、初めて世界に紹介された。前作『散歩する惑星』はCGを一切使わずにアナログ感溢れるテクニクで、2000年カンヌ国際映画祭審査員特別賞を受賞した。7年ぶりの新作となる4作目の長編映画『愛おしき隣人』(07年)は、カンヌ国際映画祭ある視点部門に正式出品され、絶賛をもって迎えられた。またコマーシャルの世界では、カンヌ国際広告祭で8度もグランプリに輝き、独自のスタイルを押し進め、巨匠の地位を築きあげた。



数千人の候補から選ばれ、世界中を魅了した初々しい二人のキャスト!

主演二人には、監督が数千人の候補の中から選び出した新人アン・ソフィ・シリーンとロルフ・ゾールマン。アンは、少女のあどけなさを残しながら、どこか大人びた表情を見せ、その瑞々しい魅力は世界中を虜にした。ロルフは2枚目ではないが、ナイーブな少年の魅力を見事に演じ、全世界で賞賛された。ヴィスコンティ監督の名作『ベニスに死す』のタジオを演じた美少年ビヨルン・アンドレセンが端役で出演し、幻のスクリーンデビューを飾っている。撮影に、カンヌパルムドール、アカデミー賞をW受賞した『ベレ』をはじめ、ビレ・アウグストなどの作品で知られる、名手ヨルゲン・ベルソン。ラッセ・ハルストレム『マイライフ・アズ・ア・ドッグ』、『ギルバート・グレイブ』のビヨルン・イスフェルトが新人として音楽を担当している。色彩豊かな映像美と、素晴らしい音楽は欧米などで絶賛された。



衝撃の長編デビュー作が完全版としてデジタルリマスターで甦る。

幼いふたりの青春と恋のめざめを瑞々しく描き、「素晴らしく情感にあふれた映画。必見!」(バラエティ)、「本当の青春の愛を描いた傑作!」(ダーゲンス・ニヘター)と絶賛され、ベルリン映画祭では「生涯忘れ得ぬ感動の名作!」と審査員から言わしめた幻の傑作。1970年本国スウェーデンで70万人を動員し、青春映画の金字塔として、社会現象をも巻き起こす、大ヒットを記録した。日本では翌年に『純愛日記』という邦題で、『小さな恋のメロディ』と同時公開された。当時は、20分カットされ公開されたが、今回完全版として復活する。ロイ・アンダーソン監督が弱冠26歳で創り上げた名作は、今もなお愛され続け、40年あまりの時を経ても色あせない初恋の輝きを放っている。



幼い二人の恋のめざめを瑞々しく描いた、純愛物語

暖かい春の日が降り注ぐストックホルム郊外の療養所。15歳の少年ペールは、美しい瞳とあどけない仕草の少女に目を奪われ、少女の事が頭から離れなくなる。そんなある日、小さなカフェで少女と再会する。少女の名前はアニカ、14歳。高鳴る胸の鼓動が一層ペールを掻き立てる。そして、二人は急速に近づいていき、ただ愛する事の幸せをかみしめていくのだった。口づけの意味も、愛がどういふものなのかもまだ知らない二人の幼い愛の行方は…。美しい音楽と詩情を漂わせた映像美で紡いだ純愛物語。

ロイ・アンダーソン監督最新作『愛おしき隣人』公開特別企画 (1970年ベルリン国際映画祭 批評家特別賞3冠受賞)

A Swedish Love Story

スウェーディッシュ・ラブ・ストーリー

監督・脚本:ロイ・アンダーソン 撮影:ヨルゲン・ベルソン 音楽:ビヨルン・イスフェルト 出演:アン・ソフィ・シリーン、ロルフ・ゾールマン、アンティ・リンドブロム、バーティル・ノルストロム 1969年/35mm/スウェーデン/114分/ヨーロッパ/ビスタ/ドルビーデジタル/カラー 配給:スタイルジャム、ピタース・エンド

4/26(土)より、一挙ロードショー!
 特別共通鑑賞券絶賛発売中!
 1作品券:¥1,500(税込) 当日¥1,800の場 ペア券:¥2,800(税込)(お二人で劇場窓口のみ)

劇場窓口にてお買い求めの方にスウェーデンから届いた、オリジナルポストカードをプレゼント!(限定数)
 ●初日プレゼント 『愛おしき隣人』初日に鑑賞の先着100名様、「スウェーディッシュ・ラブ・ストーリー」ご鑑賞の先着50名様にスウェーデンの代表的なお菓子、「タイムチョコレート」を差し上げます。 提供:アクアピットジャパン

恵比寿ガーデンプレイス内・恵比寿三越となり
恵比寿ガーデンシネマ
 03-5420-6161 kadokawa-gardencinema.jp

鑑賞券	11:00 13:05 15:10 17:15 19:20
スウェーディッシュ・ラブ・ストーリー	タイムテーブルは劇場にお問い合わせください。
『愛おしき隣人』初日	初日レイトショー 21:20~22:55(予告なし)
定員制・入替制	満席及び上映開始後の入場はできません。事前に混雑状況をお問合せ下さい。

ガーデンシネマは水曜サービスデー! 男女とも¥1,000均一